

社会資本整備総合交付金の事後評価

計画名：

「鉄道駅へのアクセス向上と安全安心な歩行者・自転車の通行環境を目指したまちづくり（防災・安全）」

計画期間：

平成27年度～平成31年度



■ 滋賀県の道路整備方針

将来20年間の道路整備の基本方針

滋賀県道路整備マスタープラン(第2次)

滋賀県基本構想の達成に向け『4つの政策目標』を掲げて道路整備を実施

1 県内産業の活性化と地域文化の交流	2 誰もが安心・安全に暮らせる優しい県土の実現	3 環境負荷の軽減と個性と潤いのある生活空間の創造	4 地域の自立的発展と不安のない暮らしの創出
-----------------------	----------------------------	------------------------------	---------------------------

具
体
化

❖ 地域ワーキング

県民アンケート 市町からの意見

内容

- ◇地域課題を抽出し、広く意見を伺う
- ◇客観的評価マニュアルに必要な「地域の重点項目」を選定
- ◇今後の道路整備についての「地域の声」とりまとめ

委員 有識者、公募委員、道路利用者、市町職員等

地域ワーキング	日程
第1回	平成29年 8月
第2回	平成29年 9~10月
第3回	平成29年 10~11月
第4回	平成29年 12月

❖ 客観的評価マニュアル(平成29年度一部改定)

改築事業 バイパス整備や現道拡幅など	5項目で評価	1.必要性	2.走行改善効果
交通安全事業(交差点改良) 右折レーンの延長や新設、交差点改良など	3.進捗状況	4.事業熟度	5.地域特性 地域の重点項目
交通安全事業(歩道整備) 自転車歩行者道や歩道の新設・改良	5項目で評価	1.計画の位置づけ	2.道路利用状況等
	3.必要性	4.進捗状況	5.事業熟度

街路事業
 …「市街地」において「都市計画道路」を整備する事業

県事業 14 路線
 市事業 29 路線
 計 43 路線



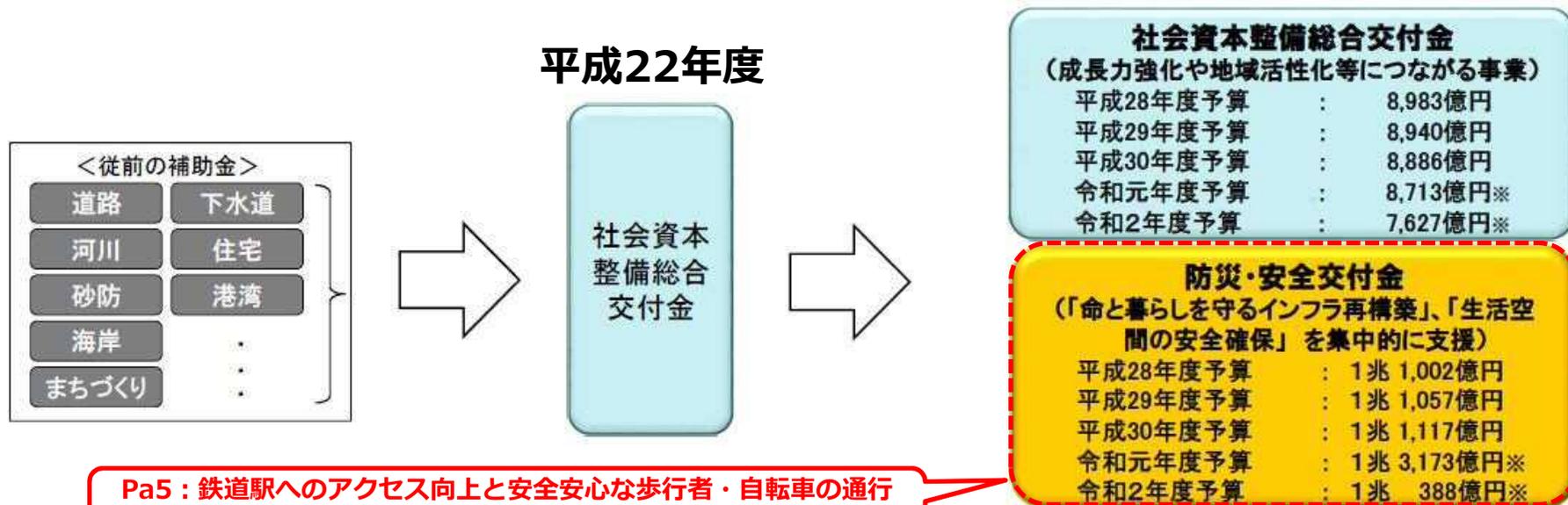
将来10年間の道路整備計画 滋賀県道路整備アクションプログラム 2018

厳しい財政状況の中、「選択と集中」による重点化を図り、地域に真に必要な道路を優先して整備

■ 社会資本整備総合交付金の概要

- ◇ 社会資本整備総合交付金は、国土交通省所管の地方公共団体向け個別補助金を一つの交付金に原則一括し、地方公共団体にとって自由度が高く、創意工夫を生かせる総合的な交付金として平成22年度に創設。
- ◇ 防災・安全交付金は、地域住民の命と暮らしを守る総合的な老朽化対策や、事前防災・減災対策の取組み、地域における総合的な生活空間の安全確保の取組みを集中的に支援するため、平成24年度補正予算において創設。

平成25年度～



Pa5：鉄道駅へのアクセス向上と安全安心な歩行者・自転車の通行環境を目指したまちづくり（防災・安全）

※臨時・特別の措置を含む。
 ・令和元年度予算 社会資本整備総合交付金:350億円、防災・安全交付金:2,767億円
 ・令和2年度予算 社会資本整備総合交付金:349億円、防災・安全交付金:2,541億円

両交付金の概要

- ◇ 地方公共団体は、地域が抱える政策課題を自ら抽出し、定量的な指標による目標を設定した、おおむね3～5年の「社会資本総合整備計画」を作成。(国は整備計画に対して国費を配分)
- ◇ 計画へ配分された国費の範囲内で、地方公共団体が自由に計画内の各事業(要素事業)へ国費を充当。
- ◇ 基幹事業(道路、河川等の16事業)の効果を一層高めるソフト事業(効果促進事業)についても、一定の範囲内で創意工夫を生かして実施可能。
- ◇ 地方公共団体が、自ら整備計画の事前評価・事後評価を実施し、HP等により公表。

◆滋賀県の街路事業にかかる交付金の整備計画

交付金名称	計画番号	計画名称	計画期間
防災・安全交付金	5	安全安心に利用できる道路空間の確保を目指した都市計画道路の整備（防災・安全）	R2～R6
防災・安全交付金	5	鉄道駅へのアクセス向上と安全安心な歩行者・自転車の通行環境を目指したまちづくり	H27～H31
防災・安全交付金	18	子ども達が安心して通える交通安全プログラムに基づく通学路整備	H30～H34
防災・安全交付金	21	児童生徒が安全に通学できる通学路の安全確保	H30～H34
社会資本整備総合交付金	29	地域の交流と経済活動の活性化	H31～H35
防災・安全交付金	31	生活空間の安全確保のための通学路等の整備	H30～R4
防災・安全交付金	32	風格と魅力ある都市を創造する彦根における子ども達の安全と安心のための通学路の点検結果に基づくみちづくり	H30～H34
社会資本整備総合交付金	33	甲南駅周辺地区における鉄道駅へのアクセス向上と交通結節機能の強化による安全で快適なまちづくり	H31～H33
防災・安全交付金	60	通学路交通安全対策実施プログラムに基づく通学路整備（防災・安全）	H28～H32
防災・安全交付金	68	東近江市通学路交通安全プログラムに基づく通学路整備（防災・安全）	H29～H33
社会資本整備総合交付金	71	災害に強い道路ネットワークの構築と円滑な道路交通を確保する都市計画道路の整備	H31～R5
社会資本整備総合交付金	76	石部駅周辺地区における鉄道駅へのアクセス向上と周辺施設のバリアフリー化による安全で快適なやすらぎのまちづくり	R2～R6



：事後評価対象



：重点配分対象

■ 事後評価の実施

滋賀県公共事業等計画評価実施要綱（抜粋）

第3 中間評価および事後評価の内容

2 知事は、次に掲げる事項について事後評価を行い、今後の方針の案を作成するものとする。

(1) 事業の進捗状況

(2) 事業効果の発現状況

(3) 評価指標の目標値の実現状況

(4) 主要な事業に関する次の事項

ア 事業を巡る社会経済情勢等の変化

イ 事業採択時の費用対効果分析の要因の変化

ウ コスト縮減および代替案立案等の可能性

エ その他必要と考えられる事項

主要な事業の該当なし

3 …主要な事業は、…県が事業主体となって実施する公共事業で、かつ、次のいずれかに該当するものとする。ただし、維持管理に係る事業を除く。

(1) 計画の期間の最終年度（H31）において事業採択後5年以上を経過し、かつ、未着工の事業 **該当なし**

(2) 計画の期間の最終年度（H31）において事業採択後10年以上を経過し、かつ、継続中の事業 **該当なし**

■ 整備計画の概要

計画名：「鉄道駅へのアクセス向上と安全安心な歩行者・自転車の通行環境を目指したまちづくり（防災・安全）」

事業主体：滋賀県、大津市、長浜市、守山市、彦根市

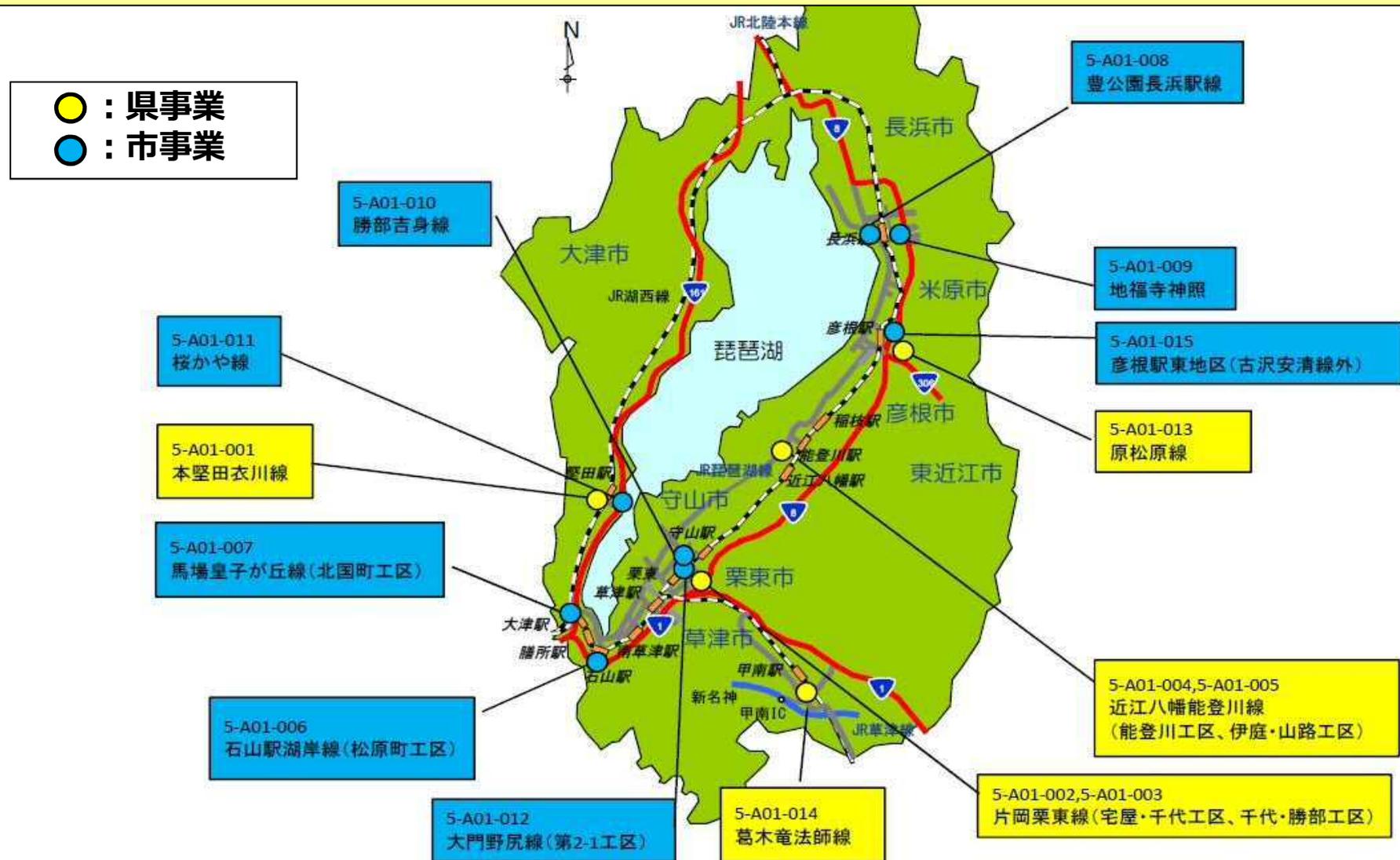
計画期間：平成27年度～平成31年度（5年間）

計画目標：

- ① 鉄道駅へのアクセス性を向上させ、誰もが安心して通行できる人と環境にやさしい道路整備を進める。
- ② 超高齢社会の到来に備え、高齢者や子どもなど社会的弱者が安心して道路を通行できるようにするため、自転車・歩行者道の整備や道路拡幅等を進める。
- ③ 緊急輸送路や避難路を整備することにより、都市災害発生時でも安全・安心に避難できる道路ネットワークを整備する。
- ④ 交通結節点である鉄道駅へのアクセス道路を整備することにより、パークアンドライド機能の強化や鉄道からバス交通などへの乗換えの推進を行い、鉄道駅の利便性を向上させる。

■ 整備計画の概要

計画名：「鉄道駅へのアクセス向上と安全安心な歩行者・自転車の通行環境を目指したまちづくり（防災・安全）」



■ 事業の進捗状況

整備計画に掲載している 事業(R2.3時点)(a)	計画期間内に 完了した 事業 (b)	計画期間内に 部分供用した 事業(C)	整備率 (b+C) / (a) ※延長比
13事業 (L=9.61km)	3事業 (L=1.67km)	3事業 (L=1.56km)	34%

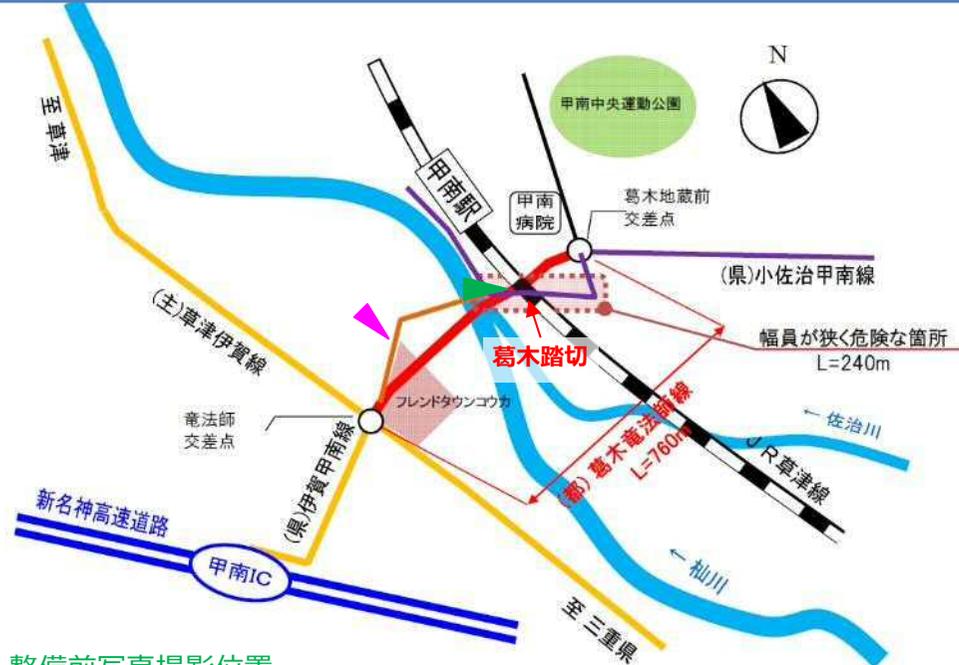
※ 事業費（計画） = 約 95 億円

※ 投じた予算（実績） = 約 70 億円

■完了した事業（街路 県事業）

- 路線名：葛木竜法師線 かづらきりゅうぼうし
- 整備箇所：甲賀市 こうなん 甲南町 かづらき 葛木～竜法師 りゅうぼうし
- 工期：H19～H28
- 整備内容：道路新設工事
- 全体延長：L=0.76 km、2車線
- 整備効果

- ・ JR草津線葛木踏切の混雑解消
- ・ 新名神甲南IC、総合病院へのアクセス向上
- ・ H28末完成、供用開始



▲：整備前写真撮影位置
 ▲：整備後写真撮影位置

■完了した事業（街路 大津市事業）

いしやまえきこがん

- 路線名：石山駅湖岸線
- 整備箇所：大津市
- 工期：H19～H29
- 整備内容：道路拡幅工事
- 全体延長：L=0.21 km、2車線
- 整備効果

- ・ JR石山駅へのアクセス向上
- ・ 自転車・歩行者の安全確保
- ・ H29末完成、供用開始



整備前



整備後

■ 完了した事業（街路 長浜市事業）

ほうこうえんながはまえき

- 路線名：豊公園長浜駅線
- 整備箇所：長浜市
- 工期：H17～H28
- 整備内容：道路拡幅工事
- 全体延長：L=0.70 km、2車線
- 整備効果

- ・ JR長浜駅へのアクセス向上
- ・ 自転車・歩行者の安全確保
- ・ H28末完成、供用開始



整備前



整備後



▲：写真撮影位置

■一部供用した事業（街路 県事業）

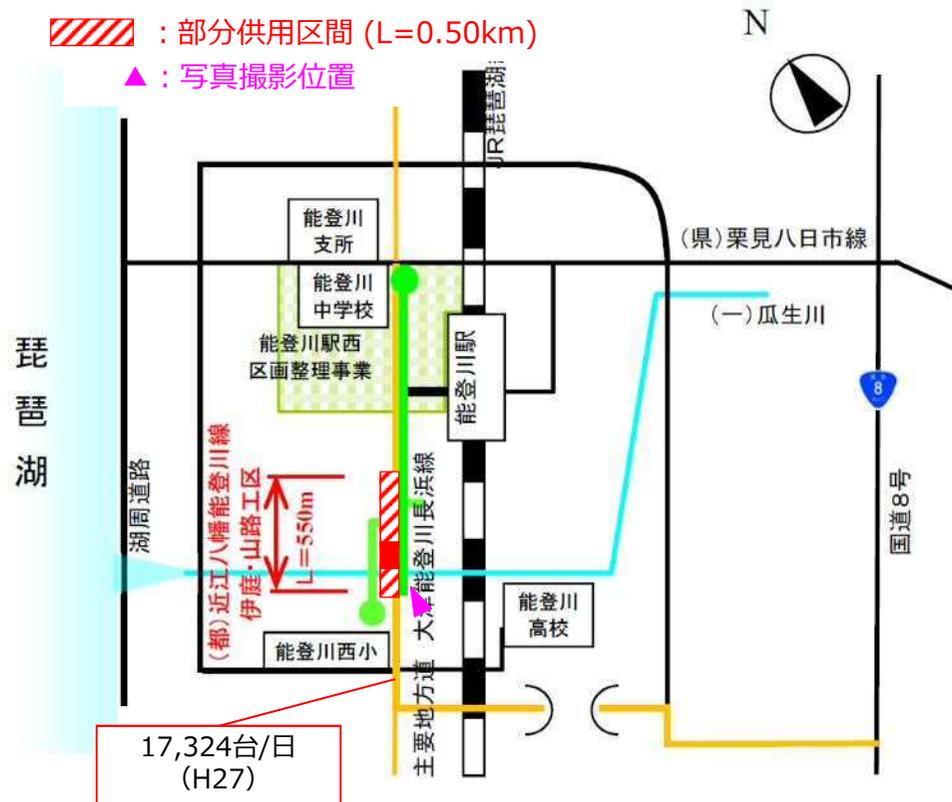
おうみはちまんのとがわ

- 路線名：近江八幡能登川線
- 整備箇所：東近江市伊庭町^{いば}～山路町^{やまじ}
- 工期：H24～H32
- 整備内容：道路拡幅工事、自歩道整備
- 全体延長：L=0.55 km、2車線
- 整備効果

- ・ 自歩道を整備し、通学路の安全確保
- ・ JR能登川駅へのアクセス向上

▨ : 部分供用区間 (L=0.50km)

▲ : 写真撮影位置

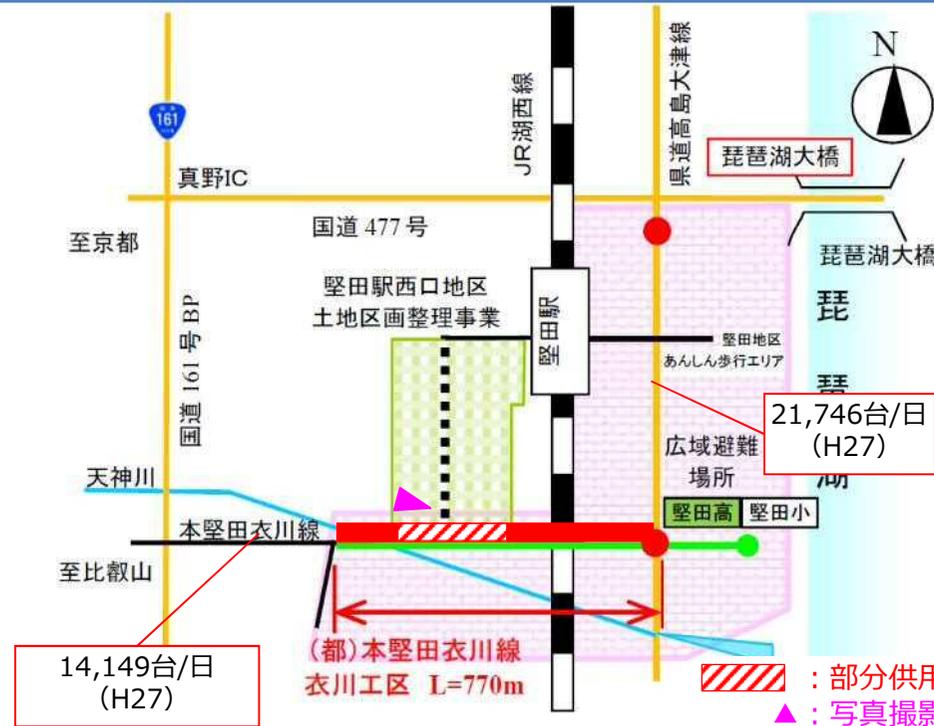


■一部供用した事業（街路 県事業）

ほんかたたきめがわ

- 路線名：本堅田衣川線
- 整備箇所：大津市 本堅田～衣川
- 工期：H26～H34
- 整備内容：道路拡幅工事、自歩道整備
- 全体延長：L=0.77 km、2車線
- 整備効果

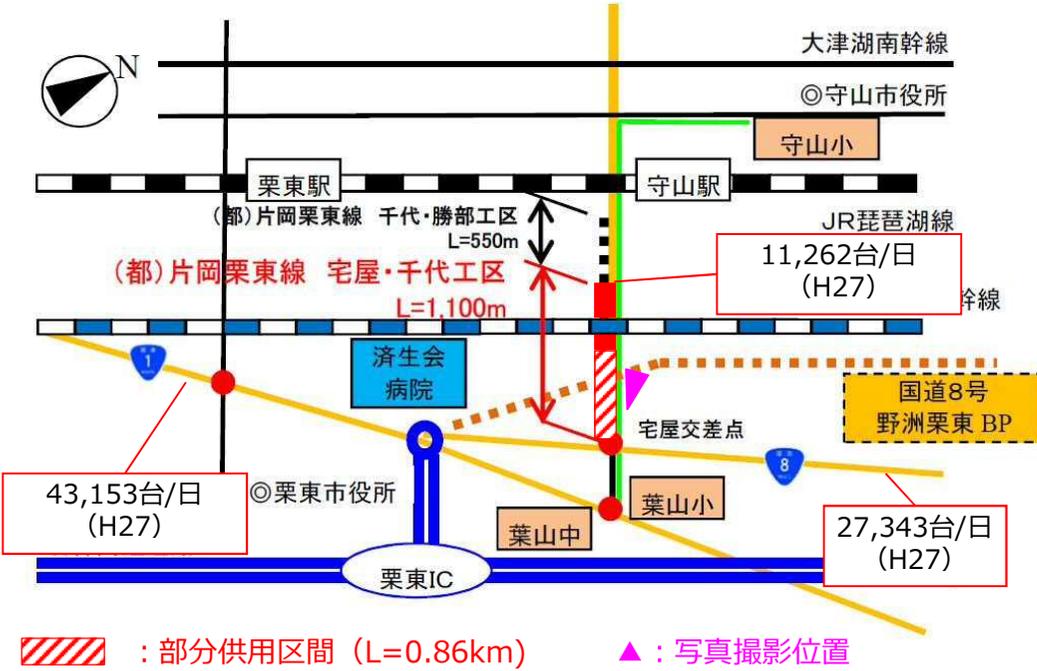
- ・ 自歩道を整備し、通学路の安全確保
- ・ 広域避難場所へのアクセス向上
- ・ H30.5交差点改良
- ・ JR堅田駅へのアクセス向上



■一部供用した事業（街路 県事業）

- 路線名：片岡栗東線 宅屋・千代工区
かたおかりっとう やげや ちしろ
- 整備箇所：栗東市出庭でば～守山市千代町ちしろ
- 工期：H26～H31
- 整備内容：道路拡幅工事、自歩道整備
- 全体延長：L=1.1 km、4車線
- 整備効果

- ・ 自歩道を整備し、通学路の安全確保
- ・ 4車線化を行い、渋滞解消
- ・ 名神栗東IC、済生会病院へのアクセス向上
- ・ 国道8号野洲栗東バイパスと合わせて整備



■ 計画の成果目標（アウトカム目標）

1 : 交通事故の発生件数

**2 : 普段利用している道路が安全
であると感じている人の割合**

■ 計画の成果目標（アウトカム目標 1）

「交通事故の発生件数」

対象地域（大津市、守山市、栗東市、東近江市、彦根市、長浜市）における交通事故のうち、当事者の種別が歩行者・自転車の交通事故を減少させる。



道路整備の目的

自転車・歩行者道の整備により歩行者・自転車が安心して通行できる空間を確保することやバイパス機能を有する路線の新設による自動車交通の分散化により、歩行者・自転車が当事者の交通事故を減少させる。

■ 計画の成果目標（アウトカム目標 1）

「交通事故の発生件数」

予測値（H21～H25の実績値から予測）

年度	26	27	28	29	30	31
事故件数	1056	994	935	881	829	780

対象地域の街路整備率について

H27当初 街路整備率 36.66%

H31末 街路整備率 38.39%

街路整備による期待減少率

H27当初 街路整備率 0.3666 ÷ H31末 街路整備率 0.3839 = 0.9549

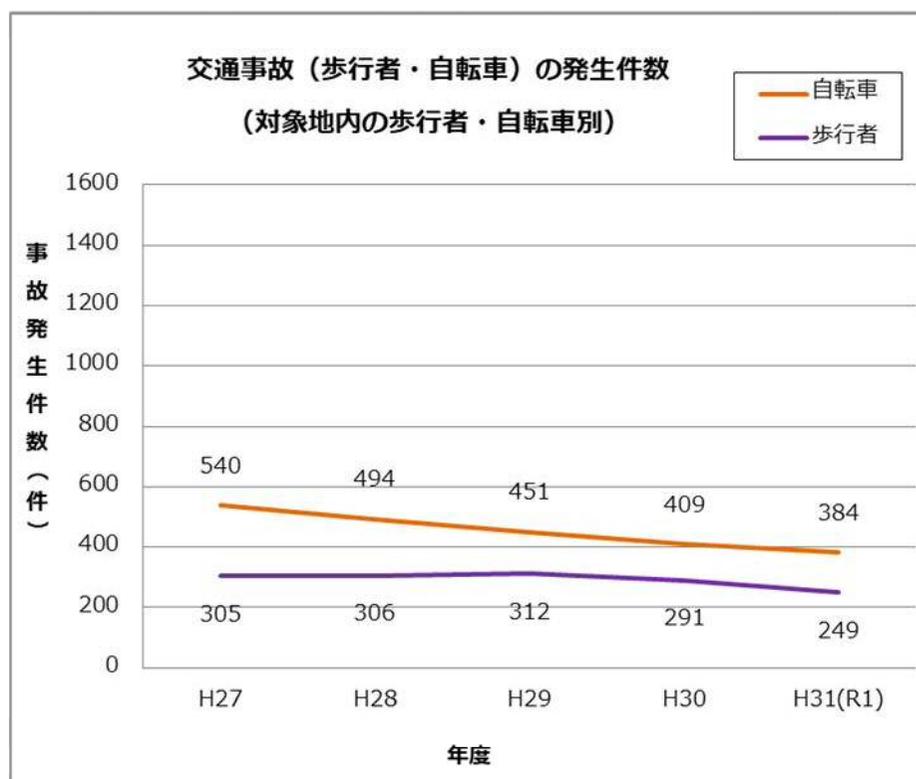
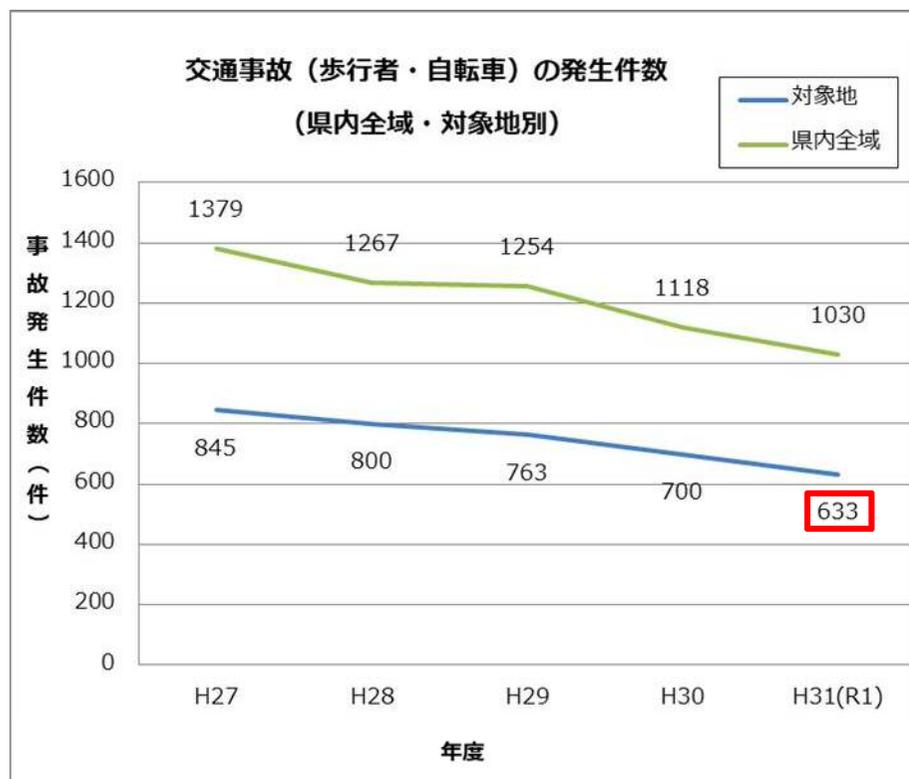
令和元年度（平成31年度）末の事故発生件数

780 × 0.9549

最終目標値
H31末
744件

■ 計画の成果目標（アウトカム目標 1）

「交通事故の発生件数」



- 最終目標値 744件 > 実績値 633件
- 交通事故は滋賀県全域で減少傾向
（減少率25.3%（H27/H31））
- 対象地の減少率 25.1%（自転車が大きく減少）

■ 計画の成果目標（アウトカム目標 2）

「普段利用している道路が安全であると感じている人の割合」

道路の安全安心に関する市民アンケートの結果（普段利用している道路が安全であると感じている人の割合）を改善させる。



道路整備の目的

道路を整備することにより、普段利用している道路が安全であると感じている人の割合を増加させる。

■ 計画の成果目標（アウトカム目標2）

「普段利用している道路が安全であると感じている人の割合」

H27当初の実績値

35.2%

街路整備率について

H27当初 街路整備率 36.66%

H31末 街路整備率 38.39%

街路整備による期待伸び率

$$2 \times \left(\begin{array}{c} \text{H31末 街路整備率} \\ 0.3839 \end{array} - \begin{array}{c} \text{H27当初 街路整備率} \\ 0.3666 \end{array} \right) = 0.034$$

令和元年度（平成31年度）末の目標値

$$\begin{aligned} 35.2\% + 3.4\% &= 38.6\% \\ &\approx 40\% \end{aligned}$$

最終目標値

H31末

40 (%)

■ 計画の成果目標（アウトカム目標2）

「普段利用している道路が安全であると感じている人の割合」

アンケートについて（令和2年10月実施）

- ・ 県政モニター制度を利用
- ・ モニター数：399人
- ・ 参加人数：342人（回収率 85.7%）
- ・ 対象地域の参加人数：312人

アンケートの結果

Q 普段利用している道路は安全であると感じていますか。

1. 安全である。
2. おおむね安全である。
3. ふつう
4. 少し危険と感じる。
5. 危険と感じる。
6. わからない。

安全であると回答した人の割合（回答1と2）

39.2%（目標値：40% [計算値：38.6%]）

危険であると回答した人の割合（回答4と5）

42.1%

■ 計画の成果目標（アウトカム目標2）

「普段利用している道路が安全であると感じている人の割合」

アンケートの結果

Q近年では、特に市街地において、県道145号線（栗東市の宅屋交差点～守山市の千代町交差点）、県道313号線（大津市の仰木口交差点～同市の明火橋）、県道127号線（甲賀市の葛木地蔵前交差点～同市の竜法師交差点）等の道路整備を進めておりますが、これらの区間について、事業に着手する前と比べて安全になったと感じますか。

1. 安全になった
2. 少し安全になった
3. 整備前と変わらない
4. 少し危険になった
5. 危険になった
6. わからない

安全になったと回答した人の割合（回答1と2）

76.6%

（整備前と変わらない…21.0% 危険になった…2.4%）

■ 計画の成果目標（アウトカム目標2）

「普段利用している道路が安全であると感じている人の割合」

道路が危険だと感じる理由

	項目	割合（%）
①	歩道（自転車歩行者道）が無く、自転車・歩行者通行が危険	24.0%
②	歩道（自転車歩行者道）が狭く、自転車・歩行者通行が危険	20.2%
③	車道幅が狭い道路であるが自動車の通行量が多い	24.0%
④	信号が設置されておらず危険な交差点がある	11.2%
⑤	通学する生徒の安全性が保たれていない	7.7%
⑥	その他	12.9%

歩道が無い・狭いことが、危険と感じる大きな要因になっている

■ 計画の成果目標（アウトカム目標2）

「普段利用している道路が安全であると感じている人の割合」

道路整備に求めるものは何ですか。

	項目	割合 (%)
①	自転車歩行者道設置・拡幅、自転車道と歩道の分離	48.2%
②	交差点改良・右折だまりの設置	14.6%
③	既存道路の拡幅（車線数の増加）	14.6%
④	道路の新設（バイパス整備）	7.3%
⑤	信号設置	5.6%
⑥	その他	9.6%

自転車歩行者道の整備を求める意見が多い

■まとめ

計画名：

「鉄道駅へのアクセス向上と安全安心な歩行者・自転車の通行環境を目指したまちづくり（防災・安全）」

■事業の実績

- ・ 葛木竜法師線（0.76km）、石部駅湖岸線（0.21km）、豊公園長浜駅線（0.70km）の完成
- ・ 本堅田衣川線（0.20km）、片岡栗東線（0.86km）、近江八幡能登川線（0.50km）の部分供用

■評価指標の目標値に対する実績

- ・ 「自転車・歩行者事故の発生件数」については、最終目標値744件に対して、633件の実績値で、目標を達成。
- ・ 「安全・安心と感じている人の割合」について、40%の目標値に対して、39.2%の実績値で、目標をほぼ達成。